

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 1006

所管部局	八木支所	所管課	産業建設課	担当者名	佐々谷 隆司
事業名	農業関連施設等管理費			事業分類	施設管理費
細事業名	農村田園文化コミュニティセンター			政策体系	223
会計	一般会計	科目	6.農林 - 1.農業 - 2.農業		

1. 事業の概要

農村田園文化コミュニティセンター及び氷所教会堂の施設内清掃及び付近草刈等清掃を行う。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

第1章3 生涯にわたって学び、活かす機会をつくる

(1) 生涯学習拠点施設の充実

上記目標に向けての施設管理を行っていく。

②事業を実施する必要性

八木氷所公園内にある2施設（農村田園文化コミュニティセンター及び氷所教会堂）について、都市と農村の交流・ふれあい農村文化体験・住民の健康づくりや研修活動の推進、コミュニティ活動の推進を図る場として設置され現在、2団体（空手・剣道）の定期的活用と小学校の課外授業・地域団体等の会議開催といった使用への対応を行い、施設運営を行っている。

今後広く使用団体を募ると共に、生涯学習や生涯スポーツに対応できるよう施設を整備していくことと併せた施設運営と、美化等の清掃活動を十分に行う施設管理を徹底する中で、都市と農村の交流・ふれあいが盛んに行えるような場づくりに力を注ぐとともに、秘蔵展示農具を活かした子供たちの学習の場としての有効活用を推進していくことが重要である。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	1,850	1,542	1,583	1,313	1,357	1,357	1,357
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	111	144	157	141	120	120
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,739	1,398	1,426	1,172	1,237	1,237
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.25	0.15			
人件費	千円	—	—	1,947	1,208			
事業費総額	千円	—	—	3,530	2,520			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。

※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

施設管理業務委託：300,000円

5. 事業結果の概要

○農村田園文化コミュニティセンター
館内清掃、敷地内草刈・溝掃除等の定期的実施
○氷所教会堂
教会堂開閉及び館内清掃、敷地内草刈の定期的実施

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1)施設 1 利用状況		
【農村田園文化コミュニティセンター】以下に記載する団体等の使用が定例化している。①定例使用：極真空手道、剣道②臨時使用：農村女性グループ協議会・消防地元分団等会議③小学校課外授業（昔の農機具等陳列物見学）	①月平均8回使用②年平均4回使用	①については1回1,500円の使用料の収入有 ②については地域振興による使用扱いにより免除としている。

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

1. 前年度から改善した点 特になし。 2. 今後の展開 各種サークル等の利用拡大につなげるために施設の維持管理を行い、施設利用の促進に努める。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点 現在、使用についてはフル稼働しているとはいえないが、さらに農村地域住民の交流・コミュニティ活動の拠点としての活用について議論した。 ②当該事業のアピール事項 施設のにもまだ汚れが目立たない状態であり、この状態を維持できるよう努める。また、貴重な昔の農具が多数展示されているので、子供たちの学習の場として大いに活用してもらいたい。 ③反省点、今後の展開・方向性等 講座等が農村田園文化コミュニティセンターにおいて開設できれば、知名度も上がり、更に積極的な活用も可能となる。
--